

鳴瀬川水系鳴瀬川のpH異常について（緊急情報・第2報）

令和7年2月18日に当事務所発注の工事現場で稼働している濁水処理設備において、湧水が濁水処理能力を超え、一時的に溢れ鳴瀬川に流出したことにより、2月19日11時00分に災害対策支部（水質）「注意体制」を設置し、警戒にあたっております。

工事現場周辺の2箇所から採水し、水質試験を行った結果、pH異常値は検出されませんでした。今後も、調査・監視を継続してまいります。

1. 事故概要

- ・ 発生場所 : 加美町内で行っている鳴瀬川ダム仮排水トンネル工事現場
- ・ 確認日時 : 2月18日23時頃
- ・ 流出物 : トンネル工事に伴う湧水の量が増加し、濁水処理設備にて、処理能力を超えた未処理水が一時的に溢れたもの。
- ・ 流出量 : 確認中
- ・ 原因 : 濁水処理設備の異常を通知するシステムの不具合により、異常が通知されなかったため

2. 現在までの対応について

【2月19日（水）】

- ・ 災害対策支部（水質）「注意体制」を設置
- ・ トンネル工事の作業を中止し、発生要因調査を実施。
- ・ 湧水の濁水処理は継続実施し、処理状況の監視を実施。
13時25分以降は処理能力の範囲内で濁水処理が行われている。

【2月20日（木）】

- ・ 濁水処理状況の監視を継続実施。
- ・ 暫定的にpHを中和する中間処理施設を新たに設置。
- ・ 工事現場周辺の2箇所ですべて採水し、水質試験を実施。（各箇所1回）
環境基準値を超えるpHは検出されず。

【2月21日（金）】

- ・ 工事現場周辺の2箇所ですべて採水し、水質試験を実施中。（各箇所1回）

3. 今後の対応について

- ・ 今後、濁水処理設備を増強予定。
- ・ 設備が整うまで、引き続き工事を中止し、湧水の濁水処理は継続監視。
- ・ 濁水処理設備を増強するまでは、毎日工事現場周辺の2箇所ですべて採水し、水質試験を実施（各箇所1回）

※ 鳴瀬川から取水し、県の麓山浄水場（加美町）から供給している水道用水は、現在のところ適切に処理され、安全性が確認されています。

※ 国で鳴瀬川の水質調査を実施しており、現在のところ異常は確認されていません。

※ 河川の利用に際しましては、ご注意願います。

※ 今後、新たな情報が入り次第、情報提供します。

<発表記者会：古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会>

問い合わせ先



東北地方整備局 鳴瀬川総合開発工事事務所

電話：0229-22-7811（代表）

副所長（技術） さいとう まさひろ 齊藤 勝博（内線204）

工事課長 まえだ みつり 前田 充典（内線371）

●水質調査等結果

①仮排水トンネル工事濁水処理設備

鳴瀬川総合開発工事事務所調べ

	計測時間	処理前pH	処理後pH	処理量	状態
2月19日	13:25	未計測	7.7	77m ³ /hr	正常稼働
2月19日	15:00	未計測	6.5	75m ³ /hr	正常稼働
2月20日	0:00	10.1	6.6	76m ³ /hr	正常稼働
2月20日	9:00	10.2	7.2	76m ³ /hr	正常稼働
2月21日	9:00	10.4	7.4	75m ³ /hr	正常稼働

②-1排水合流前、②-2排水合流後

鳴瀬川総合開発工事事務所調べ

	採水時間	排水合流前pH	排水合流後pH	調査方法	河川状況
2月20日	13:20	7.4	7.3	採水分析	異常なし
2月21日	10:25	分析中	分析中	採水分析	異常なし

※ 河川水の環境基準値は、pH 6.5~8.5

